

# 県図なう。

鹿児島県立図書館の“今（ナウ）”をお知らせし、図書館と利用者を結ぶ情報紙です。

令和2年11月15日 発行  
第116号（毎月15日発行）  
<http://www.library.pref.kagoshima.jp>  
Tel : 099-224-9511



鹿児島県立図書館

## ホットニュース

### お待たせしました！皆様の御来館をお待ちしています。

蔵書点検、館内の工事も終了し、11月1日から通常開館を再開しました。休館中は皆様に御不便をおかけしました。この期間、当館職員は蔵書の1冊1冊、本棚の1段1段を点検し、県民の皆様にご気持ちよく利用していただけるよう、作業を行ってまいりました。ぜひ来館いただき、当館の図書資料を御利用ください。

また、11月から12月は館内展示、イベントも目白押しです。皆様の御参加をお待ちしています。

#### 宝本エピソード展

11月5日～12月11日  
正面玄関ホール

県内の45小・中学校等から寄せられた676点のエピソードを前半、後半に分けて宝本とともに展示します。

#### 館長講演会・天吹演奏会

12月12日(土) 13:30～  
当館1階 大研修室

今回は、原口泉館長による、郷土の偉人や歴史に関する講演と、生駒綱雄氏による薩摩の伝統楽器「天吹(てんぷく)」を御堪能いただけます。

#### おはなしのじかん 冬のスペシャル

12月13日(日) 14:00～  
当館1階 大研修室

読み聞かせ、指遊び、人形劇など、いつもの「おはなしのじかん」のスペシャル版をお楽しみいただけます。来場者プレゼントもありますよ！

各イベントの詳しい案内は、当館の館内チラシ・ポスター、ホームページで御確認ください。  
外壁工事のため、駐車場が狭くなっております。公共交通機関を利用しての御来館をおすすめします。

## 図書館で探そう、調べよう！

～レファレンス(調査相談)事例から～



### 「緊急時の『SOS』は、何を省略したものか知りたい」

このような依頼を受け、略語の辞典をあたれば良いだろうと、まず数冊の略語辞典を調べました。しかし、意外なことに見つかりません。次に「SOS」は日本でも広く知られているので、一般的な辞書にも載っているのではないかと考えました。『広辞苑』(岩波書店 2018年)を開くと、「SOS」の項目があり、「1908年に制定されたモールス符号で、文字そのものに意味はない」とありました。念のため『現代用語の基礎知識2020』(自由国民社 2020年)を確認しても、「頭文字に特別の意味があるわけではない」とあります。何かの略語だとばかり思っていたので、大変驚きました。依頼者に資料を御覧いただくと、「何かの略だとばかり思っていました。意味はないんですね！」と感心された様子でした。

続けて、「モールス信号の文字の対応表のようなものが載っている本はないか」との質問をいただきました。

“モールス信号”“モールス符号”などで蔵書検索しますが、見つかりません。ふと思いついて船に関連する本の棚を見ますが、ここでも見つけられません。手がかりはないかと、詳細な資料情報が多い「国立国会図書館サーチ」で“モールス信号”と検索すると『記号の事典』(三省堂 1996年)がヒットしました。当館も所蔵していたので、すぐに現物を確認。目次にモールス信号の記述があり、対応表も確認できたので、資料を提供することができました。

思い込みがあると、すぐには資料に辿り着けません。さまざまな視点でアプローチすることの大切さを感じた一件でした。

## 新着図書案内

### 《一般図書》11月20日(金)

- 『脱マウス最速仕事術』 森新/著 ダイアモンド社
- 『不安を力に変えるゆるっと哲学』  
ただち/著 小川仁志/監修 ぱる出版
- 『地図でスッと頭に入る古事記と日本書紀』  
瀧音能之/監修 昭文社
- 『図解よくわかるスマート農業』三輪泰史/編著  
日本総合研究所研究員/著 日刊工業新聞社
- 『文豪春秋』 ドリヤス工場/著 文藝春秋

### 《児童図書》11月13日(金)

- 『きっとどこかに』 リチャード・ジョーンズ/作  
フレーベル館
- 『うみのとしよかん あらしがやってきた』  
葦原かも/作 講談社
- 『小さな町のでっかい笑顔』 浜田尚子/作 文研出版
- 『今日から始めるコツコツのコツ』  
コツコツブック制作委員会/編・出版
- 『青春！卓球部』 横沢 彰/作 新日本出版社

## 催し物の御案内

### 「冬の読書フェスティバル」の御案内

12月9日(水)から12月20日(日)の期間を「冬の読書フェスティバル」と題して、子どもの読書活動を推進します!

#### ふゆいろのおはなしのじかん

12月9日(水), 16日(水)は 15:30~16:00

12月10日(木), 17日(木)は 11:00~11:30

フェスティバル期間中は、木曜日の午前中にも「おはなしのじかん」を行います。参加者プレゼントもありますよ!

#### 『宝本』エピソードを募集します!

あなたの「宝本」と、その本にまつわるエピソードを教えてください。12月9日~20日の期間に、児童文化室に御提出くださった方に記念品を差し上げます。応募用紙は、児童文化室にあります。

## 図書館職員のつづやき

先月は蔵書の特別整理とガス管工事に伴う1か月間の臨時休館でした。利用者の皆様には大変御不便をおかけしたかと思えます。

県立図書館では、「休館中でも、利用者の皆様に本を届ける方法はないか」と話し合い、「予約貸出」を行いました。2週間の期間限定ではありますが、貸出中ではなく「在庫」の本を予約貸出しようという試みです。

普段は行っていないサービスでしたので、全てがゼロからの構築でした。窓口の設置場所に始まり、申込みの方法やその広報、パソコンのシステムの変更やエラーのチェック、予想されるトラブルへの対応など、職員で何度も何度も検討し、試行錯誤を重ね、ようやく実現にこぎつけることができました。

「生みの苦勞」を実感した出来事でしたが、窓口にいらした利用者の方から、「本を楽しみにしていた」という声をいただき、本を届けることができた喜びを感じることでした。

## 県立図書館に届いた「宝本」エピソード

今回紹介していただいた宝本は、いもとようこ/え よこたきよし/ぶんの『あいうえおのえほん』(金の星社)です。

次男はダウン症という障害をせおって、この世に生を受けました。ダウン症児であると知らされた時には、不安でたまらず、どう進んで行けばいいのか途方に暮れたものです。

そんな中、いもとようこさんの可愛い絵にひかれて、書店で手にした『あいうえおのえほん』。毎日毎日読み聞かせをしていくと、次男はひらがなにとっても興味を示し、この本が大好きになり、私と次男の親子読書の楽しい時間の始まりの一冊、「宝本」になりました。

障害はあっても、可能性に満ちあふれていること。努力によってその可能性が拓かれていくことを教えてくれた一冊。この本との出会いにとっても感謝しています。

そして、ゆっくりであっても、いろんなことにチャレンジし、がんばっている息子に感謝。



## 図書館クイズ

えほん『としょかんライオン』ミシェル・ヌードセン/作 ケビン・ホークス/絵 (岩崎書店) からのクイズです。

ライオンは、としょかんのおてつだいをしてくれます。なめてくれたのは、なんだったかな?

- ①にく ②ふうとう ③あめだま

#### ヒント

てがみをだすおてつだいをしていたよ

答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、12月13日(日)までに入れてください。正解者のなかから抽選で20人にしおりなどのプレゼントを差し上げます。

前回の答えは「③おおかみ」でした。

たくさんの御応募ありがとうございました。



## 図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
11	15	16	17	18★	19	20◇	21◆
月	22	23	24	25○	26	27	28
	29	30	1	2★	3	4	5
12	6	7	8	9★	10★	11	12
月	13	14	15	16★	17★	18	19◆

○ 開館時間 火曜日~土曜日 : 9時~21時

※ 児童文化室は19時まで

日曜日・祝日(自撮): 9時~17時

- は、休館日
- は、学習室のみ開室(11月25日 9時~17時)
- ★ は、おはなしのじかん(毎週水曜日 15時30分~16時)
- ☆ は、おはなしのじかん(赤ちゃん向けのおはなしのじかん)  
(12月10日, 17日 11時~11時30分)
- ◆ は、土曜版おはなしのじかん(第3土曜日 14時~)
- ◇ は、一般閲覧室新着図書の日(11月20日)